

議会報告会報告書

開催日時	平成26年10月17日（金）午後6時 終了：午後7時30分	
開催場所	松任文化会館 302会議室	
対象団体	松任地区町会	
参加人数	38人	
班構成	A 班	山口俊哉、永井徹史、宮中郁恵、岡本克行、寺越和洋 竹田伸弘、中西恵造
役割分担	リーダー：竹田、司会：宮中 報告：当初予算の主な事業－竹田、定例会会議概要－岡本 総務－永井、文福－中西、産建－寺越 記録：山口	
報告内容	平成26年度当初予算と主な事業、定例会9月会議等	
<p>（質疑応答）</p> <p>（質問1） 公共施設の建設費についての説明はあったが、建設後の維持管理費については、どのようになっているのか。</p> <p>（答 弁） 施設の維持管理費は重視しており、公共施設の統廃合及び管理見直し方針に基づき、議会でも議論しているが、さらに公共施設マネジメント白書を作成し、維持管理やコスト面などを明らかにして対応をする。</p> <p>（質問2） 公共施設の管理見直しについて、民営化などの取り組みはどう考えているか。</p> <p>（答 弁） 行政コスト削減を考慮して、民営化や指定管理者制度の導入などを進めている。指定管理者を地域の団体にしている施設もある。また、市が責任を持って維持管理していく施設もあり、議会と執行部がしっかりと議論している。</p> <p>（質問3） 成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種の対象者は、なぜ65歳から5才刻みなのか。また、対象年齢に該当しない場合は市の助成はないのか。</p> <p>（答 弁） 国の制度が65歳から5歳刻みとしていて、年齢に該当しない場合は自費で接種していただくことになる。65歳から免疫力が下がるため、基本的には65歳以上の方が1回だけ接種できることになっている。過去に接種された方は、医師との相談が必要とのことである。</p> <p>（質問4） かんぽの郷白山尾口が閉館との報道があった。ぜひ存続してほしい。</p> <p>（答 弁） 議会の中でも議論しており、先の9月会議の一般質問でも、市が購入するなどを提案した議員がいた。市としては営業の継続を強く望んでおり、日本郵政に存続の要望書を提出している。しかし、日本郵政は継続する意思がなく、今後は売却先を探すことになっている。売却価格は国会に報告する義務があり、あまり安価にもできない。推移を見守りたい。</p>		

(質問5) 議会報告会の結果報告はあるのか。他地区での意見を知りたい。

(答 弁) 今年度の議会報告会は7月から開催しており、11月に発行する議会だよりには、市民からいただいた意見を常任委員会で執行部と協議した内容を抜粋して掲載する。また、ホームページにも掲載するのでご覧になってほしい。

(質問6) 昨年の市議会議員選挙で定数を21名に減らし、議員報酬をアップした。このことについて検証しているのか。

(答 弁) 若い人が選挙に立候補したことや、30、40代の投票率がアップしたことなどから、若い人が政治に興味をもつようになったことがわかる。なお、議会では災害や緊急性のある課題に素早く対応するため、昨年から通年議会を導入して、議長の権限で10月22日にも本議会を開催した。また、市内の諸団体との意見交換会や議会報告会を積極的に開催し、市民の意見を行政に反映できるよう取り組んでいる。

(質問7) なぜ、議員報酬を上げたのか。他市では議員報酬は日当制のところもあるが、どのように考えているのか。

(答 弁) 市民の意見を聞いて議論を深めるためにも、専任の議員が必要である。また、各種団体の青年部・女性部との意見交換では、教育費などの経費がかかるため、43万円の報酬では議員になる魅力がないという意見があった。白山市の活性化のため、若い方が議員になれる環境づくりとして報酬アップを求め、最終的に報酬審議会からは50万円との答申があった。また、以前は議員を3期12年すれば議員年金が支給されたが、2、3年前に廃止された。企業の年金と同じように個人、市ともに68,000円を負担していた。年金廃止により、市の負担は軽くなっている。

(質問8) 政務活動費は適切に執行されているのか。

(答 弁) 証拠書類として領収書の提出を徹底するなど、厳しく審査をしている。食費については、これまで5,000円を上限としていたが、市職員の基準に合わせて1,500円に改定し、上限額を上回れば実費負担としている。当市議会においても、毎年情報公開の請求がある。なお、残余金がある議員は返還している。

備 考	
-----	--